

県内の役立つ福祉資源を掘り起こし情報化

「自閉症児・者親の会が情報マップを発行」

神奈川県自閉症児・者親の会連合会（佐藤辰男代表）では、自閉症の人たちやその家族、保護者が必要とする、県内の福祉資源情報をまとめた「自閉症の人たちのための福祉資源マップinかながわ」を発行しました。

冊子は「親の会」ならではの視点で、子どものライフステージを軸において編集されており、我が子の障害についての不安や心配を抱える両親の助けとなる情報が掲載されています。

情報は、乳幼児期の通園施設や母子グループの紹介などをはじめ、学童期を迎える際の教育相談窓口や養護学校の一覧のほか、障害者職業相談の実施機関や地域就労援助センターの案内、福祉施設など、就学期を終え、地域の中で活動する際に活用できるリストも掲載されています。

また、各市町村で実施されているホームヘルプなどの在宅サービスの窓口、地域支援センターの情報なども取り上げられており、子どもの年齢や学齢などの成長段階に合わせた、きめ細かい内容となっています。

さらに巻末では、権利擁護や福

祉サービスの利用援助についての仕組みがわかりやすく図説され、主なオンブズマン関連組織の一覧表もあわせて掲載されており、自閉症児・者に限らず、広く障害児・者やその家族にとって役立つ情報が満載されています。

冊子は有償で頒布されていますので、ご希望の方は直接連合会までお問い合わせください（一冊三百円。送料別途負担）。

※この冊子の作製には、本会「第二種正会員連絡会」並びに「第三種正会員連絡会」の「平成十三年度研究成果普及事業」による助成が行われました。

（企画課）

◆県自閉症児・者親の会連合会
TEL: 0468-24-7024（浅羽）
FAX: 0468-24-7024（浅羽）



施設や主要機関が地図や表でわかりやすく記載されています

身障者の充実した生活を実現し支えていくために

「ケアマネジメント従事者協議会設立される」

県内の身体障害福祉関係者が集まり、福祉サービス利用に関する情報提供や権利保障、利用者主体のサービス提供等を支援する「神奈川県身体障害者ケアマネジメント従事者協議会」（以下、協議会）が発足し、五月十四日秦野市で設立総会が開かれました。

総会に先駆けて、谷口明広氏（自立生活問題研究所所長、厚生労働省障害者ケアマネジメント体制整備検討委員会身体障害者部会委員）より講演がありました。

講演で谷口氏は、「療育等支援事業の見直しや来年度からの支援費支給制度実施により、障害福祉の体制が大きく変わろうとしているなかで、障害のある方々の生活が良くなるか悪くなるかは、ひとえにケアマネジメント従事者の手腕にかかっていると思う。充実した毎日を送れる支援計画を立てるために、『幸せにしたい』と本当に願う気持ちを常に持って支援して欲しい」と、協議会の今後の活動に期待感を表明しました。

引き続き設立総会では、発起人である藤村和静氏（県障害者ケアマネジメント体制整備検討委員会身体障害者部会委員）が、「支援費

支給制度を『権利』として有効活用するには、利用者の意向を確認し、それを示す役割を担うことが、今後ケアマネジメント従事者に求められる機能となっていくと思う。また、具体化されず潜在しているサービス需要の施策化に向けた活動や、幅広い分野を視野に入れた

支援計画を立てていくことも役割のひとつだと考えており、会員相互や県域の関連組織と連携しながら、幅広い活動をしていきたい」と意欲を示しました。

今後は、鈴木治郎会長（県障害者自立生活支援センター事務局長）を中心に、経験と専門性を活かした組織的な活躍が期待されます。



今後のケアマネジメントのあり方を語る谷口氏の動向などをまじえながら

◆同協議会（県障害者自立生活支援センター内）
TEL: 046-247-7503（矢野）
（企画課）